



平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営本部IR広報部長 (氏名) 根本 洋

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	106,580	6.7	13,146	12.1	13,790	14.1	9,862	25.1
28年12月期第3四半期	99,887	5.0	11,729	25.3	12,090	21.7	7,886	21.8

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 12,719百万円 (197.1%) 28年12月期第3四半期 4,280百万円 (44.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	74.92	
28年12月期第3四半期	59.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	229,571	182,077	77.1
28年12月期	219,520	173,003	76.5

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 176,976百万円 28年12月期 167,990百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		13.00		13.00	26.00
29年12月期		13.00			
29年12月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	4.9	18,000	11.5	18,700	10.4	12,500	9.4	94.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	131,996,299 株	28年12月期	131,996,299 株
期末自己株式数	29年12月期3Q	359,324 株	28年12月期	353,240 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	131,640,457 株	28年12月期3Q	131,648,791 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(ア) 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間（平成29年1月1日から平成29年9月30日まで）の業績は、売上高は1,065億8千万円（前年同期比6.7%増収）、営業利益は131億4千6百万円（前年同期比12.1%増益）、経常利益は137億9千万円（前年同期比14.1%増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は98億6千2百万円（前年同期比25.1%増益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

当社は、従来、報告セグメントを「基礎化学品事業」、「アクリル製品事業」、「機能製品事業」および「樹脂加工製品事業」の4つの区分としておりましたが、第1四半期連結会計期間から、「基幹化学品事業」、「ポリマー・オリゴマー事業」、「接着材料事業」、「高機能無機材料事業」および「樹脂加工製品事業」の5つの区分に変更いたしました。

この変更は、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画「成長への軌道 2019」の戦略を推進するために、平成29年1月1日付で実施いたしました組織改編を反映したものであります。

なお、本セグメント区分の変更に伴い、前年同期比につきましては、変更後の区分方法により作成した前第3四半期連結累計期間の数値と比較しております。

①基幹化学品事業

電解製品は、カセイソーダや無機塩化物の販売好調により増収となりました。アクリルモノマー製品は、販売数量の増加に加え販売価格の是正に努めたことなどから増収となりました。工業用ガスは、底堅い需要が継続し増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は489億2千2百万円（前年同期比9.5%増収）となりました。

営業利益は、電解製品やアクリルモノマー製品の増販に加え、アクリルモノマー製品などの採算改善が寄与し、43億1千3百万円（前年同期比41.1%増益）となりました。

②ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、車載用材料や化粧品原料などに使用される高付加価値製品の販売が引き続き好調に推移し増収となりました。アクリルオリゴマーは、フィルムコーティングや電子材料などに使用される光硬化型製品の販売好調により増収となりました。高分子凝集剤は、販売数量の増加により増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は208億3千7百万円（前年同期比4.7%増収）となりました。

営業利益は、アクリルオリゴマーは増益となりましたが、高分子凝集剤の販売価格の下落やアクリルポリマーの固定費増加などから、34億7千3百万円（前年同期比0.8%減益）となりました。

③接着材料事業

瞬間接着剤は、国内外の販売が堅調に推移し増収となりました。機能性接着剤は、高機能情報端末などに使用される反応型接着剤の販売が好調だったほか、自動車部品向けのホットメルト型や光硬化型接着剤の販売も好調に推移し増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は91億3百万円（前年同期比4.0%増収）となりました。

営業利益は、機能性接着剤は増販により増益となりましたが、国内における瞬間接着剤の広告宣伝費増加などが利益を圧迫し、21億3千9百万円（前年同期比5.8%減益）となりました。

④高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、旺盛な半導体需要が継続し液化塩化水素などの高純度製品の販売が拡大したことから増収となりました。無機機能材料は、快適で衛生的な生活に対する関心の高まりに伴い、無機抗菌剤、消臭剤、防カビ剤などアメニティ材料の販売が伸長し増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は56億9千2百万円（前年同期比13.6%増収）となりました。

営業利益は、高純度無機化学品や無機機能材料の増販が寄与し、17億3千5百万円（前年同期比34.4%増益）となりました。

⑤樹脂加工製品事業

管工機材製品は、販売価格は軟調に推移しましたが販売数量の増加により増収となりました。建材・土木製品は、年前半の販売不振の影響から減収となりました。ライフサポート製品は、新製品の投入効果などから増収となりました。エラストマーは、医療や飲料分野向けの販売が好調に推移し増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は195億8百万円（前年同期比1.6%増収）となりました。

営業利益は、管工機材製品の販売価格の下落や主原料価格の値上がりの影響などから、12億8千1百万円（前年同期比10.3%減益）となりました。

⑥その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は25億1千5百万円（前年同期比7.5%増収）、営業利益は1億9千6百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

総資産合計は、「有価証券」および「投資有価証券」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ100億5千1百万円、4.6%増加し、2,295億7千1百万円となりました。

負債合計は、設備投資にともなう設備未払金の増加により「その他」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ9億7千7百万円、2.1%増加し、474億9千4百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ90億7千4百万円、5.2%増加し、1,820億7千7百万円となり、自己資本比率は77.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成29年12月期の業績予想につきましては、平成29年7月28日に公表した予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,966	27,278
受取手形及び売掛金	40,302	41,880
有価証券	44,000	47,000
たな卸資産	14,162	15,102
その他	1,713	2,161
貸倒引当金	△33	△34
流動資産合計	129,110	133,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,572	18,204
機械装置及び運搬具（純額）	20,917	19,506
土地	17,135	17,153
その他（純額）	3,327	6,109
有形固定資産合計	59,953	60,974
無形固定資産		
	500	604
投資その他の資産		
投資有価証券	26,983	31,604
退職給付に係る資産	1,229	1,469
その他	1,757	1,546
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	29,955	34,605
固定資産合計	90,409	96,183
資産合計	219,520	229,571

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,729	14,622
短期借入金	2,502	6,503
未払法人税等	4,142	1,093
引当金	18	888
その他	9,126	10,598
流動負債合計	29,519	33,705
固定負債		
長期借入金	9,805	5,726
退職給付に係る負債	158	159
その他	7,034	7,903
固定負債合計	16,997	13,789
負債合計	46,517	47,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,799	16,799
利益剰余金	120,999	127,439
自己株式	△278	△286
株主資本合計	158,407	164,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,955	10,541
為替換算調整勘定	1,922	1,815
退職給付に係る調整累計額	△296	△220
その他の包括利益累計額合計	9,582	12,136
非支配株主持分	5,012	5,100
純資産合計	173,003	182,077
負債純資産合計	219,520	229,571

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	99,887	106,580
売上原価	70,986	75,047
売上総利益	28,901	31,532
販売費及び一般管理費	17,171	18,385
営業利益	11,729	13,146
営業外収益		
受取利息	45	57
受取配当金	501	473
持分法による投資利益	300	269
固定資産賃貸料	79	97
その他	95	121
営業外収益合計	1,021	1,021
営業外費用		
支払利息	76	72
為替差損	318	65
環境整備費	100	129
遊休設備費	74	50
その他	88	57
営業外費用合計	660	376
経常利益	12,090	13,790
特別利益		
固定資産売却益	—	369
投資有価証券売却益	—	446
補助金収入	10	36
特別利益合計	10	852
特別損失		
固定資産処分損	192	296
減損損失	19	—
特別損失合計	211	296
税金等調整前四半期純利益	11,889	14,346
法人税等	3,666	4,200
四半期純利益	8,223	10,145
非支配株主に帰属する四半期純利益	336	283
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,886	9,862

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	8,223	10,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,587	2,586
為替換算調整勘定	△1,402	△89
退職給付に係る調整額	47	76
その他の包括利益合計	△3,942	2,573
四半期包括利益	4,280	12,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,105	12,417
非支配株主に係る四半期包括利益	174	302

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	44,694	19,893	8,749	5,009	19,201	97,547	2,339	99,887	—	99,887
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,269	977	362	214	0	3,823	5,202	9,026	△9,026	—
計	46,963	20,871	9,111	5,223	19,201	101,371	7,542	108,914	△9,026	99,887
セグメント利益	3,057	3,501	2,271	1,290	1,428	11,549	112	11,662	66	11,729

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、事業の用に供していない遊休資産（土地、建物等）を売却したため、当該資産の帳簿価額を売却額まで減額し、当該減少額を減損損失（19百万円）として特別損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	48,922	20,837	9,103	5,692	19,508	104,064	2,515	106,580	—	106,580
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,399	959	401	29	9	3,799	5,293	9,093	△9,093	—
計	51,322	21,796	9,505	5,721	19,518	107,864	7,809	115,673	△9,093	106,580
セグメント利益	4,313	3,473	2,139	1,735	1,281	12,943	196	13,139	6	13,146

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来、報告セグメントを「基礎化学品事業」、「アクリル製品事業」、「機能製品事業」および「樹脂加工製品事業」の4つの区分としておりましたが、第1四半期連結会計期間から、「基礎化学品事業」、「ポリマー・オリゴマー事業」、「接着材料事業」、「高機能無機材料事業」および「樹脂加工製品事業」の5つの区分に変更いたしました。

この変更は、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画「成長への軌道 2019」の戦略を推進するために、平成29年1月1日付で実施いたしました組織改編を反映したものであり、当社グループの経営管理の実態を適正に表示するためのものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

各報告セグメントに属する主要製品は、下記のとおりであります。

セグメント	主要製品
報告セグメント	
基幹化学品事業	カセイソーダ、カセイカリ、次亜塩素酸ソーダなどの電解製品、硫酸、工業用ガス、アクリル酸、アクリル酸エステルなどのアクリルモノマー等
ポリマー・オリゴマー事業	アクリルポリマー、高分子凝集剤、光硬化型樹脂などのアクリルオリゴマー等
接着材料事業	瞬間接着剤、機能性接着剤等
高機能無機材料事業	高純度無機化学品、無機機能材料等
樹脂加工製品事業	管工機材製品、建材・土木製品、ライフサポート製品、エラストマー等

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。